

第2回牛久郷土かるた大会

牛久の魅力、かるたで再発見



◀チーム名を「強力」と名付け、市長と堂々と対戦した中村さんと名雪さん(左側)

「第2回牛久郷土かるた大会」が、1月17日、三日月橋生涯学習センターで開催され、4歳から74歳までの88人(44組)が参加しました。このかるた大会は、牛久市の歴史・文化・自然をテーマにした「牛久郷土かるた」で、地域住民と交流しながら郷土愛を育み、かるた競技を通して牛久市を学び、競技の楽しさを味わうことを目的に開催されたものです。

市長と対戦した中村心美さん(小3)、名雪悠さん(小3)は、「市長は強かった。けど大丈夫だった」と満足気な表情でした。

また、牛久郷土かるたのイラストを手がけた佐久間あすかさんは「絵は覚えているけど、小学生高学年の瞬発力・記憶力はすごい」と参加小学生を絶賛していました。

学校給食「牛久の日」

楽しく味わう牛久の味



子どもたちが楽しみにしている学校給食「牛久の日」が、1月19日に市内各学校で行われました。

牛久の日は調味料以外のほとんどの食材が牛久産です。この日の献立は、野菜のダシがしみ込んだ牛久産小麦の煮込みうどんに、天ぷら、ゴマ和え。そして目玉は「いもまん!」。やさしい甘味は、粒の残る牛久産さつまいものなせるわざ。多くの子は、ご褒美のごとく最後までとっておき、大切に一口ずつ食べていました。



うれしそうに「いもまん!」を食べる神谷小学校の子どもたち

1164号

2016年3月1日発行

発行・編集 牛久市市民活動課  
〒300-1292 茨城県牛久市中央3丁目15番地1

今月の  
たいへんよくできました

## うしく文化認定こども園



まつぐみ



うめぐみ

うしく文化認定こども園のお友だちが「おかしのに」をテーマに、お菓子の家や丘、池、列車などを披露してくれました。これらの作品は1月下旬に開催された「あしあと展」のために制作したものです。

年長さんのお友だちは、お菓子の家を作りました。部屋の中まで、チョコレートのバスやバナナの車、あめの鉄棒などで飾るこだわりよう!とても楽しかったとのこと。みんな、よくできましたね!



ねんしょう 年少さん 製作



ねんちよう 年長さん 製作



さいじ 2歳児クラス 製作

ねんちよう 年長さんだけでなく、園のみんなまでホールいっぱい「おかしのに」を作りました。

再生紙、環境に優しい植物油インキを使用しています。